平成１１（１９９９）年４月９日　凍霜害

概　況
　４月８日夜から翌日９日朝にかけて本州付近は移動性高気圧に広く覆われた。また、８日２１時、東海地方の上空約５，０００ｍ付近には約−２５℃、上空約１，５００ｍ付近では０℃の寒気が流入した。このため、県内は快晴で、風も弱くなったことから放射冷却現象が強まった。県内の９日朝の最低気温は、稲武の−５．４℃を始めとして三河地方の山間部を中心に氷点下となった他、県内各地で最低気温の平年値を大きく下まわり、南知多では平年より９．３℃も低い−２．３℃を記録した。この気温の低下により各地で凍霜害が発生し、柿・梨の新芽等の枯死により４００，５９２千円の大被害となった。特に、豊橋市で被害が大きく、柿２９４，１７４千円、梨５０，０２５千円、茶４４，１６０千円の合計３８８，３５９千円の被害額となり、全体の約９７％を占めた。
　このように春は農作物の萌芽の時期でもあり、上空に寒気が入り移動性高気圧に覆われ晴れると放射冷却現象が強まり、朝の気温が下がるため凍霜害が発生しやすい。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 地　域 | 果　　実 | 被害面積(ha) | 被害金額(千円) |
| 豊橋市 | 柿、梨、茶 | ２５４ | ３８８，３５９ |
| 新城市 | 梨 | １８ | １０，７８０ |
| 豊田市 | 梨 | １１ | １，４５３ |
| 県　計 | 柿、梨、茶 | ２８３ | ４００，５９２ |

 愛知県農業被害状況(愛知県災害誌から)


　最低気温分布図（平成１１年４月９日）

　９日明け方、県内は三河山間部を中心に気温が下がり、稲武で−５．４℃、南知多で−２．３℃、豊田で−１．６℃、岡崎で−１．２℃、鳳来で−０．１℃と氷点下となった。
※各地の最低気温は、名古屋・伊良湖は連続観測値から、その他は毎正時の観測値からの記録。